

技術名称：コンテナファルト

申請者名：ニチレキ株式会社中国支店

技術部門（主）：長寿命化部門

登録
区分

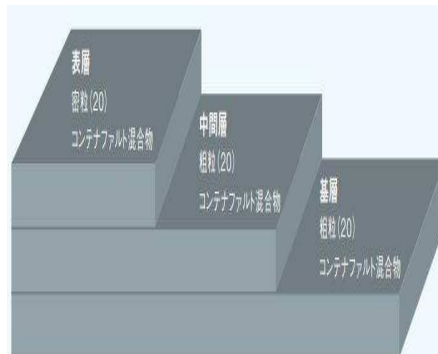
区分3：活用促進技術

区分2：試行段階技術

区分1：開発・改良支援技術

■技術概要・ポイント（写真・図面等を適宜貼付）

・ 空港や港湾のコンテナヤードのような低速で重荷重を受ける特殊条件下においてもわだち掘れが起きにくいアスファルト舗装を適用できる樹脂系特殊アスファルトバインダである。
 ・ コンクリート舗装とアスファルト舗装を比較した時、わだち掘れに関してはコンクリート舗装が有利であるが、建設コストが高かったり施工や修繕が大がかりである。また、アスファルト舗装も耐流動対策で市販されている改質アスファルトを使用しても特殊条件であるため、わだち掘れが生じていた。



■公共事業における施工・活用方法

空港や港湾のコンテナヤードなど低速で重荷重がかかる場所での舗装工事

■適用条件等（自然条件・現場条件等の活用上の留意点）

適用事業

1. 道路 2. 河川 3. ダム 4. 砂防 5. 港湾 6. 海岸
 7. 下水道 8. 公園 9. その他 10. 全般

①自然条件

- ・ 外気温5℃以上で施工する。
- ・ 雨天時は施工不可

②現場条件

- ・ 施工機械はアスファルトフィニッシャ及びローラー2台程度
 5m×20m=100㎡の駐機スペースが必要

③適用可能な範囲

- ・ 加熱アスファルト舗装

④

～設計時～

- ・ 舗装設計施工指針に準拠すること
- ・ コンテナファルトの技術資料を参照すること（技術資料は問い合わせ先にて入手できる）
- ・ 配合設計は、従来技術と同様にマーシャル安定度試験による方法で行う

～施工時～

- ・ コンテナファルトの技術資料を参照する。
- ・ 施工は、通常の機械編成・施工方法で行う

■技術の成り立ち

・ コンテナファルトは、軟化点と60℃粘度が非常に大きく、混合物は非常に高い耐流動性を持つと同時に、低温での曲げ仕事量が大きい特徴を有する。
 ・ コンテナヤードのストラドルキャリアの接地圧を想定したWT試験で、接地圧を高くすることにより、改質Ⅱ型DSは5,000回/mm未満、コンテナファルトは5,000回/mm以上の値を示した。

開発
体制等

- ① 単独 2. 共同研究(民民) 3. 共同研究(官民) 4. 共同研究(民学)

開発会社：ニチレキ株式会社

販売会社：ニチレキ株式会社

協会：

技術部門（副）（副次的効果）



部門

技術名称：コンテナファルト

申請者名：ニチレキ株式会社中国支店

■活用の効果（技術部門（主部門）のアピールポイント）

※従来技術名（ポリマー改質アスファルトⅡ型）

| 項目 | 活用の効果 | | | 発現する効果 | |
|--------|-------------|-----|-----------|----------------------------------------|-------------------------------------------|
| | | | | 申請技術 | 従来技術 |
| 経済性 | 向上 (41%) | 同程度 | 低下 (%) | 申請技術は、流動抵抗性・耐久性が高いため、維持管理コストの減少が期待できる。 | 従来技術は、一般的な改質Ⅱ型混合物となるため、維持管理コストの減少は期待できない。 |
| 工程 | 短縮 (%) | 同程度 | 増加 (%) | 申請技術は、流動抵抗性が高いため、維持管理に係る日数が減少する。 | 従来技術は、一般的な改質Ⅱ型混合物となるため、維持管理に係る日数は増加する。 |
| 品質・出来形 | 向上 | 同程度 | 低下 | 従来技術と比較して流動抵抗性が高い。 | 改質Ⅱ型の性状のため、申請技術より流動抵抗性が劣る。 |
| 安全性 | 向上 | 同程度 | 低下 | 従来技術と同程度である。 | 申請技術と同程度である。 |
| 施工性 | 向上 | 同程度 | 低下 | 従来技術と同程度である。 | 申請技術と同程度である。 |
| 環境 | 向上 | 同程度 | 低下 | 従来技術と同程度である。 | 申請技術と同程度である。 |
| 維持管理性 | 向上 | 同程度 | 低下 | 従来技術と比較して、耐久性が高いため、次回補修までの期間が長くなる。 | 申請技術と比較して耐久性に劣るため、次回補修までの期間が短くなる。 |
| その他 | 向上 | 同程度 | 低下 | 該当なし | 該当なし |

技術名称：コンテナファルト

申請者名：ニチレキ株式会社中国支店

■活用実績

| 発注者 | 県内件数 | 県外件数 |
|---------|------|------|
| 広島県 | 1件 | — |
| その他公共機関 | 1件 | 366件 |
| 民間等 | 0件 | 23件 |

| 発注者 | 年度 | 公共工事名(事業名) |
|--------|-----|----------------------------|
| 広島県 | R2 | 一般国道375号ほか道路維持修繕業務委託(舗装補修) |
| 鹿児島市 | R2 | 鹿児島中央駅西口駅前広場 |
| 境港管理組合 | H31 | 昭和南ふ頭舗装補修工事(1工区) |
| 境港管理組合 | H31 | 昭和南ふ頭舗装補修工事(2工区) |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

■国土交通省(NETIS)への登録状況

| 申請地方整備局名 | 登録年月日 | 登録番号 | 評価(事前・事後) |
|----------|-------|------|-----------|
| | | | |

■建設技術審査証明の発行状況

| 発注機関名 | 証明書発行年月日 | 証明書番号 |
|-------|----------|-------|
| | | |
| | | |

■国及び都道府県等による技術的審査を受けている状況

なし

■知的財産等

| 特許・実用新案 | | | | 番号 |
|---------|-------|--------|---------|-------|
| 特許 | 1. あり | 2. 出願中 | 3. 出願予定 | 4. なし |
| 実用新案 | 1. あり | 2. 出願中 | 3. 出願予定 | 4. なし |

■当該技術の課題と今後の改良予定

【課題】
コストダウン